

「セロテック」 TP-L

ビウレット法

■特長

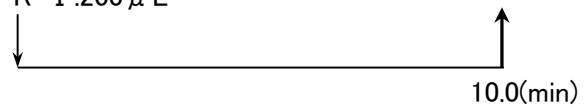
- ・直線性に優れています。
- ・共存物質は通常の濃度では影響ありません。
- ・デキストランの影響を軽減しました。

■測定原理

検体中のタンパクはアルカリ性下で第二銅イオン (Cu²⁺) と錯体を形成します(ビウレット反応)。この呈色反応物(λ max 546nm)を比色測定することにより、総タンパク濃度を求めます。

■測定条件(日立-7170の場合)

SAMPLE: 3.4 μL
R- I :200 μL



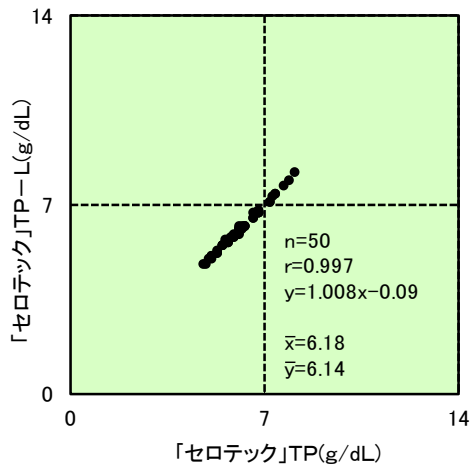
分析法/測定ポイント: 1ポイントエンド*34-0

波長(副/主): 700/546nm

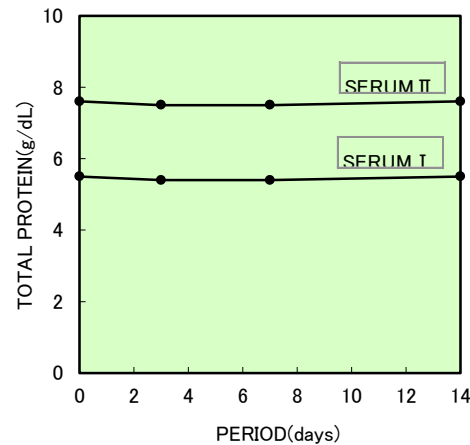
STD濃度: *g/dL

*TP・ALB標準液を使用(濃度はロットにより異なります)

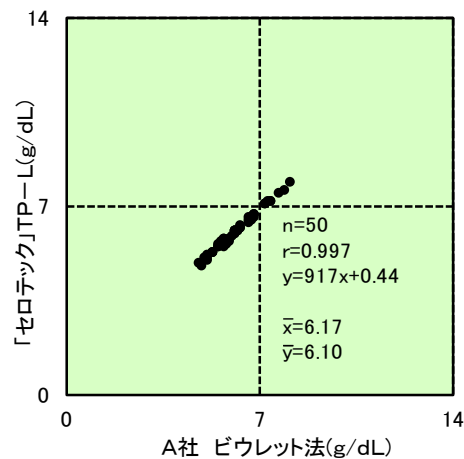
■相関(血清)



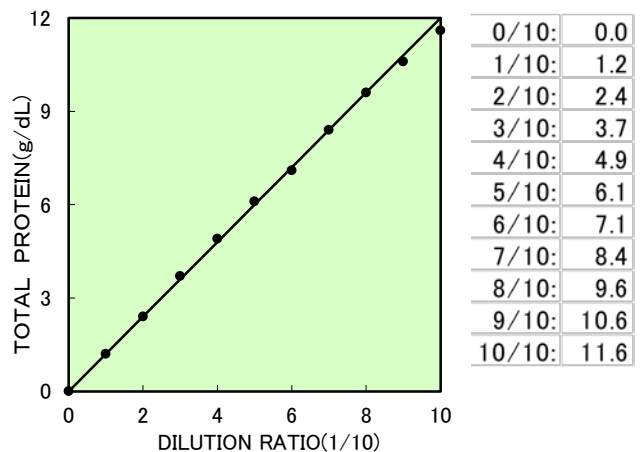
■開封後の安定性(8~12°C保存)



■相関(血清)

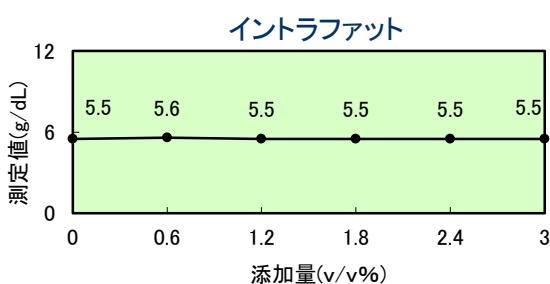
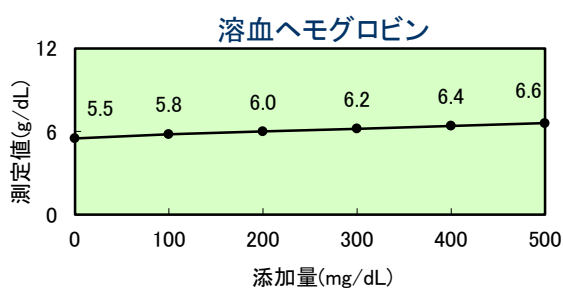
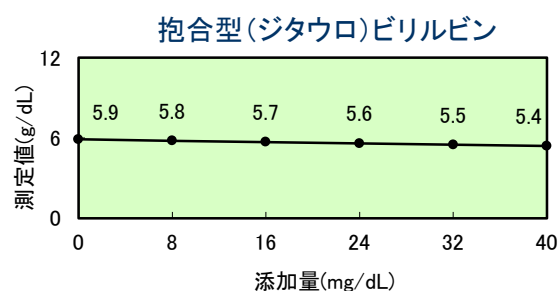
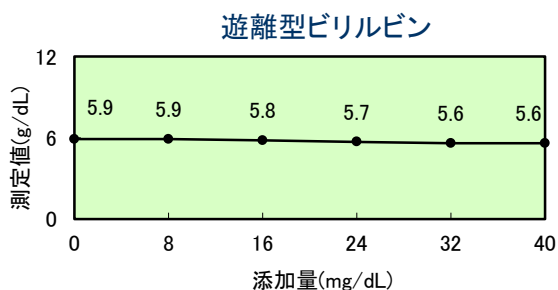
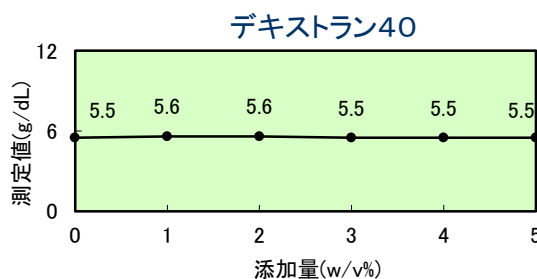
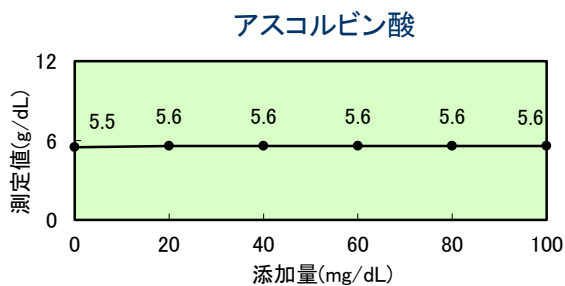


■直線性(ウシ血清アルブミン水溶液)



■ 共存物質の影響 (血清)

■ その他の血中共存物質の影響



■ 同時再現性

(単位:g/dL)

	SERUM I	SERUM II	SERUM III
N	30	30	30
MEAN	5.99	7.08	8.61
MIN	5.9	7.0	8.5
MAX	6.0	7.1	8.7
R	0.1	0.1	0.2
SD	0.03	0.04	0.06
CV(%)	0.50	0.57	0.70

■ 包装

製品コード	製品内容	包装形態
A544-15	TP-L 呈色試液	60ml × 4
A544-10	TP-L 呈色試液	80ml × 4
A544-30	TP-L 呈色試液	150ml × 3
A544-40	TP-L 呈色試液	400ml × 3

■ 参考基準範囲

血清: 6.7~8.3g/dL

金井 他, 臨床検査法提要, 改訂31版, p.478, 1998.

■ 貯法及び有効期間

室温保存 製造後2カ年 (開封後は2週間)

※使用上の注意等は添付文書をご参照下さい。



株式会社 セロテック

お問い合わせ先 (企画開発室)

〒062-0021 札幌市豊平区月寒西1条8丁目8-7

TEL 011-855-1131 FAX 011-855-0143

E-mail: kikaku@serotec.co.jp